

フルヤ金属 創業70周年

単結晶超硬用イリジウムをつぼ世界シェア8割を占める業用貴金属メーカーのフルヤ金属は、3月に創業70周年を迎えた。宝飾向け貴金属地金販売からスタートし、現在はイリジウム、ルネウムなどの貴金属買から半導体温度センサーや薄膜、ケミカル化合物まで事業領域を広げる。業用貴金属への参入を求め、今日のフルヤ金属を築いてきた古屋堯民社長に、これまでの歩みを目指す会社を聞いた。

「創業70周年を迎えたい」と、多くの人に恵まれたことが幸運だった。従業員や顧客はもちろん、金融機関や商社まで、多くの人を支えられて70周年を迎えることができている。心から感謝したい。」

「宝飾品販売から出発し、工業用貴金属に転換した。父が宝飾品・地金販売の会社として創業した。法人化したときは、まだセラミック関連メーカーのスタートアップだった。父が、父誘われ会社に入った。驚いたのは売上げが伸びているのに赤字が続いていたこと。1年半にわたり取組組合が、営業だったが、当時はからリテイナーの盛況



古屋 堯民社長

事業の幅広げ安定経営

「創業70周年を迎えたい」と、多くの人に恵まれたことが幸運だった。従業員や顧客はもちろん、金融機関や商社まで、多くの人を支えられて70周年を迎えることができている。心から感謝したい。」

「創業70周年を迎えたい」と、多くの人に恵まれたことが幸運だった。従業員や顧客はもちろん、金融機関や商社まで、多くの人を支えられて70周年を迎えることができている。心から感謝したい。」

高付加価値な素材・製品開発

「創業70周年を迎えたい」と、多くの人に恵まれたことが幸運だった。従業員や顧客はもちろん、金融機関や商社まで、多くの人を支えられて70周年を迎えることができている。心から感謝したい。」

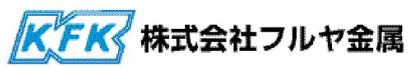


貴金属の可能性へ
挑戦しよう。

創業70周年を迎えました

フルヤ金属は1951年の創業以来貴金属の可能性にチャレンジしています。特にPGMのなかでイリジウム・ルネウムの用途拡大に努め製品の安定供給のみならず高度情報化社会の課題解決に取り組んでまいりました。皆様方のご支援ご愛顧に心よりお礼申し上げます。今後とも皆様方のお導きの程 何卒よろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役社長 古屋 堯民



〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-37-5 MSB-21南大塚ビル
TEL. 03(5977)3368 FAX. 03(5977)3371
URL: <https://www.furuyametals.co.jp/>

フルヤ金属は得意とするイリジウム・ルテニウムを使用した白金族触媒やその副産物を通して、新規ビジネスの拡大を図る。触媒関連の新技術として、京都大学北山研究室北山教授が世界に先駆けて開発したナノ合金技術を基に各種ナノ合金を連続合成する技術を開発した。触媒に活用することでナノ合金の社会実装を目指す。実用化の展望としては、京都大学が開発した燃料電池用ナノ合金をはじめ、各種触媒分野への応用を想定。将来はカーボンニュートラルの実現分野への展開が期待されている。

フルヤ金属、新規分野開く



両角本部長



島崎常勤監査役



つくば工場

沿革

1951年	3月	古原商店を創業(東京都三鷹市)、事業内容は貴金属地金・宝飾品販売
1968年	8月	フルヤ金属を設立(東京都三鷹市)
1975年	4月	工業用貴金属事業に参入
1981年	10月	国産第1号のイリジウムをつま開発成功
1982年	6月	東京都豊島区高田1丁目至高田工場を建設
1986年	7月	信越化学工業精密材料部の代理販売開始
1989年	7月	新日本製鐵(現日本製鉄)、旭硝子(現AGC)と共同で溶融・溶銅向け連続測温用温度計を開発
1990年	10月	茨城県下館市(現筑西市)につくば工場を建設、本社工場と高田工場を集約
1991年	12月	航空宇宙技術研究所(現独立行政法人宇宙航空研究開発機構)と高温用温度センサー(イリジウム合金素材使用)を共同開発
1993年	6月	貴金属鉱山会社ウエスタンプラチナム社(南アフリカ共和国)の日本国内の工業用向け代理店となる
1998年	10月	つくば研究開発センターを開発
2006年	9月	ジャスダック証券取引所へ上場(証券コード:7826)
2007年	12月	茨城県土浦市に土浦工場を建設
2010年	10月	北海道千歳市に千歳工場を建設
2011年	2月	田中貴金属工業と資本業務提携契約を締結
2011年	9月	韓国フルヤメタルを設立
2013年	4月	米国フルヤメタルを設立
2013年	7月	土浦工場に乾式精製装置棟を新設
2014年	3月	土浦工場に触媒棟新設
2014年	3月	経済産業省認定グローバルニッチトップ企業 100 選に選定
2020年	5月	Furuya Eco-Front Technologyを設立
2020年	6月	2020年版経済産業省認定グローバルニッチトップ企業100選に選定
2020年	7月	Anglo Platinum Marketing LimitedとFuruya Eco-Front Technologyの合併契約締結

経験生かし経営支援

高田工場は、本社 えたので開発も加速した。兼用の古い建物に新築と振返る。フルヤメタルが採用しているナノ合金は、2014年に北川宏・京大教授が合成に成功した。ナノ合金触媒は排ガス主成分の窒素酸化物を浄化するロジウムよりも貴金属量が豊富で、イリジウムと安価なルテニウムから作られる。ロジウムをじ角厚・化成品・回収の多量の高純度化に成功した。ロジウムは自動車用の排ガス触媒から早期量産化の強い排ガス規制強化に効果的な量産技術開発をおい、これに代わっての期待が待たれている。

フルヤ金属は白金族触媒を推進し、高温・高圧の排ガス触媒を開発。販売を手に、これらを経手している。これらの経験を生かして、研究開発を進め、ナノ合金触媒の活用を推進している。現在はイリジウム・ルテニウム・白金の3種類の合金を扱っており、その中でもイリジウム・ルテニウム合金は、白金に比べて高純度化が容易で、高純度化技術を開発している。

白金族触媒

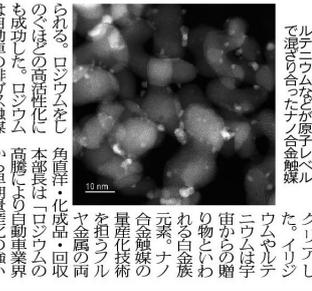
ナノ合金、水素に生かす

高純度化 脱炭素社会に貢献

高純度化技術を開発する。水素から水素にエネルギーを交換するイリジウム合金が期待される。

高純度化技術を開発する。水素から水素にエネルギーを交換するイリジウム合金が期待される。

高純度化技術を開発する。水素から水素にエネルギーを交換するイリジウム合金が期待される。



10nm

高純度化技術を開発する。水素から水素にエネルギーを交換するイリジウム合金が期待される。

高純度化技術を開発する。水素から水素にエネルギーを交換するイリジウム合金が期待される。

高純度化技術を開発する。水素から水素にエネルギーを交換するイリジウム合金が期待される。

洋上風力発電に期待

洋上風力発電に期待

洋上風力発電に期待

洋上風力発電に期待

洋上風力発電に期待